

私が茶道部に入った理由

飯塚市立飯塚第一中学校一年（福岡県）

高鍋 真理乃

私が茶道部に入ろうと思った一番の理由は、茶道部に姉が入り、少しずつ茶道について興味をもったからだと思います。

私が茶道と出会ったのは、小学四年生の時に姉が茶道部に入ったときです。みんなで食事をしている時に姉が、「部活、茶道部に入ったよ」と言い、私は茶道部がどんなところなのか気になったので、後日、姉が家にかえって来て聞いてみると、「みんな明るくて、とても楽しい部活だよ」と教えてくれました。私は、もし入るならそんな楽しい部活が良いなと思いました。

そして、私が小学五年生のときに学校の総合的な学習の時間に茶道の多田先生のお宅でお茶のたて方や、家の中に入ったときに何をするのか、どちらの足から入ればいいのか、お菓子のいただき方などを教わりました。茶道はどのようなものなのかや、茶道の楽しさを知ることができて、

私は部活に入るときに他に楽しそうな部活がなければ、必ず茶道部に入ろうと思いました。

また、姉から家で、茶道部についていろいろと教えてもらって、茶道部の楽しさについても知りました。

私が茶道部に入部すると姉の違った面の話を聞きました。家では私と弟を持ってスクワットをしたり、たまに私におんぶをしてもらっていたりするのに、「茶道部を作ってほしい」と校長室へ言いに行ったり、茶道部を立ちあげるために、茶道を通じた仲間と、ともに校外ボランティア茶道や校内に季節の花や掲示物を飾り、校内外の茶道部活動のアピールを真面目に続けてきたことを知りました。十二年間の茶道同好会を、茶道部へと昇格させたのだそうです。今年も茶道部になり三年目。

今、私は姉たちが作った茶道部を引きついでいます。私にできることは、この茶道部のことをもっとたくさんの人たちに知ってもらえるように活動をしていくことです。

コロナ禍で、茶道部活動の大きな発表の一つである「文化祭お茶会」は今年も中止になります。これから、茶道部みんなで協力して、文化祭茶道部展示作品づくりをがんばります。